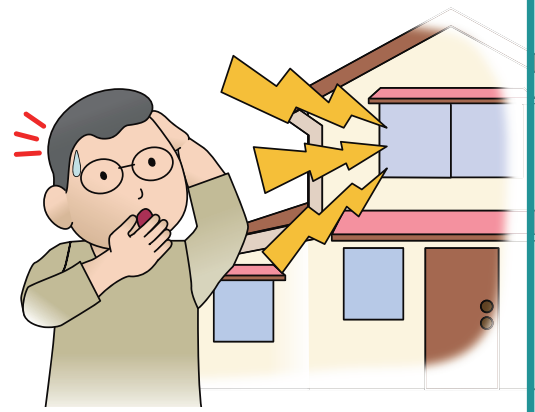


大きな音が気になります… 音の仕組みと対処方法を教えて



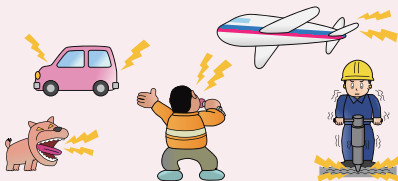
コロナ禍の「ステイ・ホーム」で生活が一変した中、近所からの外音が気になりイライラしたり、また、自室が周りに「騒音」を出しているのではないかと気に悩んだりしていませんか？

騒音のあれこれ

「騒音」というと工事現場などの大きな音を想像しますが、個々人のリズムに合わないさほど大きくない耳障りな音すべてが「それぞれの人にとっての『騒音』」となり、現代人の日々のストレスのひとつとなっています。

そのなかでも、生活中に発生する「生活騒音」はなくすることが難しく、生活に制限を強いられない点から法規制や規制値を定められていません。だからといってなにをしても許されるということではなく、誰もが被害者にも加害者にもなることを忘れないよう、生活することが大切です。また生活騒音は日中よりも夜間に気付きやすいので、例えば機器・設備等使用する時間を調整できるものは日中に行うなど、発生側の知恵が周囲への配慮につながります。またテレワークによるビデオ会議やボイスチャットなどの話し声も、周囲の配慮をする必要が出てきました。

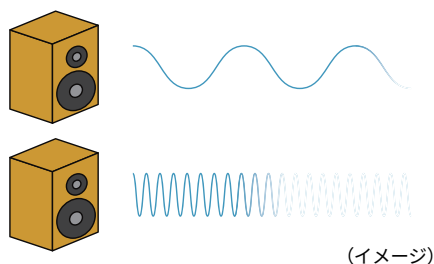
おもな生活騒音



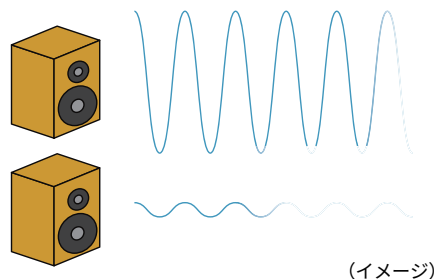
- 歩行・走行音、歌声、話し声・泣き声・笑い声、跳びはねる音など生活行動音
- テレビ、オーディオ、楽器などの音・音楽
- ペットや虫の鳴き声、自動車・バイクのふかし音、風鈴の音など
- 空調機、給排水、ドアの開閉音など設備構造から発生する音
- その他、冷蔵庫、洗濯機、乾燥機、掃除機など家庭用機器からの音

音の仕組みを知ろう

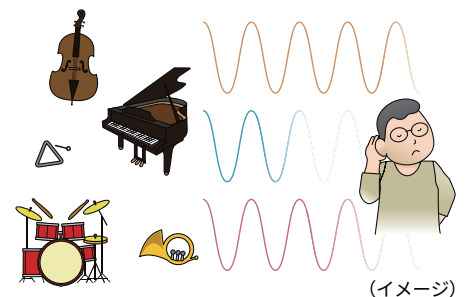
音は「強さ(大きさ)」「高低(周波数)」「音色(ねいろ)」の3つの「音の三要素」から成り立ちます。「音」の発生源(音源)が作る振動(音波という)が空気を伝わり別の地点に届くことで音が広がりますが、別の地点での音の到達量(聞こえる音)は、音源そのままではなく音の三要素の特性によりそれぞれ減衰します。また離れた地点での音は間に入る障害物によっても音の減衰量が変わるため、その障害物を応用することで「防音」の仕組みができます。



低い周波数の音は、
高い周波数の音よりも遠くで聞こえる



大きな音は、
小さな音よりも遠くで聞こえる



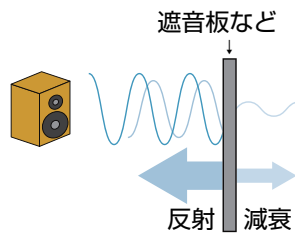
聞こえやすさは音色によっても異なる

防音の種類と特性、騒音には対策どのようなものがあるの？

音を軽減させる「防音」は、音の三要素それぞれが作る「振動」をいかに効率よく軽減できるかで、以下のような対策を組み合わせることで、受ける騒音も出す騒音も軽減することができるでしょう。また、大規模工事などは永遠に続くものではなく施工会社が施工期間の明示等をするため、期間限定と了承することも大切です。窓を閉める、カーテンをするなどの工夫で、聞こえ方も変わります。しかし幹線道路や鉄道、航空機など日々のインフラが絡むものは、音量も高く期限もないので、話は変わります。この場合はほぼ永年解消しない問題ですので、防音リフォームを検討するといいいでしょう。

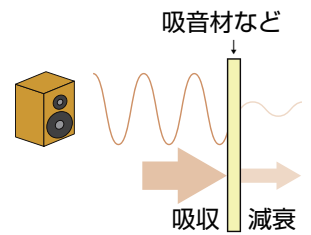
遮音

音の発生源等を「覆う」「囲む」など音の振動を障害物で防ぐ方法です。一般的に「音源近く」「固く」「分厚い」屏や遮蔽物で囲うと高い効果が得られます。次項の吸音とともに外から来る騒音と自分が発する音の双方に効果があります。



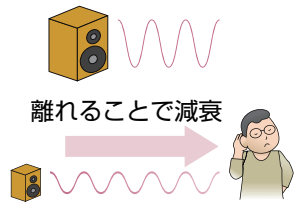
吸音

音を「吸収」させて音の振動を防ぐ方法です。ウレタンスポンジやグラスウールなど「柔らかい物質」や「微細な穴がたくさん開いている素材」を音源の内外面に貼ることで吸音できます。音源から離れた壁等に貼り付けることでも効果があります。



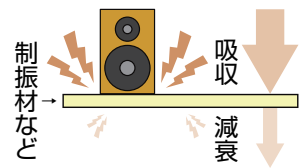
距離減衰

音の発生源を離せば聞こえ方は低下するので、設置場所に自由度あるものは、影響の少ない場所へ移動してみましょう。しかし振動を伴う重低音は比較的遠くまで伝わる特性と、移動した先で騒音問題が発生しないことがカギとなります。



制振、防振

歩行、走行、楽器やスピーカーの重低音など振動を伴う音は比較的遠くまで伝わります。これらは地面・床から伝わるので、振動対策のため通路や床、地面に防振ゴムやクッションシート、厚めのカーペットなどを敷く・貼ることで効果を発します。



施工箇所	施工内容	効果
窓・窓際	遮音カーテンの導入 防音窓ガラスと二重サッシの取り付け	吸音 遮音
換気扇から漏れる音	防音フィルターの取り付け サイレンサーの取り付け	遮音
壁	壁に吸音材・遮音材の貼り付け 壁内側に吸音材・遮音材の埋め込み	吸音
床・地面	耐震クッション・耐震ゴムの導入 吸音・遮音タイプのマット等を敷く 防音タイプの床材に変更する	吸音 制振 防振
演奏部屋、ホームシアター	防音室にリフォーム	遮音 吸音 制振 防振

大音量を出す場合は防音室リフォーム

楽器演奏やホームシアターなどを目的とする防音の場合は、部屋全体を防音室にリフォームすると、騒音対策の効果が高まります。

幹線道路沿いの大きな騒音対策は？

生活音対策や空港周辺、自衛隊や在日米軍の飛行場周辺にお住まいの方で、外から来る騒音に関しての防音リフォームは、自治体から助成金の給付を受けられる地域もあります。詳細はお住まい地域の自治体へお問い合わせください。

この内容を含む様々なお家の問題を取り上げた「トラブル解消特集」を当社のWebサイトで公開しています。ぜひご活用ください。

●お気軽にお問い合わせください



【保存版】お家の健康診断（マイチェックシート）

※太文字は放置すると家屋倒壊や火災につながる危険な項目です。屋根や天井裏などの高所点検は無理をせず、点検業者にお任せください。

診断箇所	確認したいこと	○△×	被害や今後の予測
外壁	隙間や浮き		家が傾き、強度不足となる恐れがある。
	ヒビや損傷		壁内部へ水が侵入し、腐食の恐れがある。
	汚れやカビなど		雨漏りの結果、壁内部が腐食している。
屋根	雨漏り		天井、壁内、室内の木材が腐食し、老朽化を早める。
	老朽化		雨漏りや家の強度不足につながる、災害に耐えられなくなる。
	雨どい(割れや外れ)		強風で飛ばされる、家屋に雨水が侵入する恐れがある。
基礎	軒裏の状況		傷みがあると雨漏りの恐れがある。
	基礎ヒビ・壊れ		家屋の傾きや倒壊の危険につながる。
ドア	通気口の点検		床下の通気が悪いと湿気で腐食やカビの原因となり、シロアリが発生する。
	建具のきしみ・がたつき・すきま		雨水や外気が侵入し、害虫被害などにもつながる。
窓	サッシの結露		断熱効果の低下が故であり、結露の水分で窓枠や床材の腐食が生じる。
	サッシのパッキンの老朽化		室内に雨水が浸入し、窓枠や床材に腐食が生じる。
玄関廊下階段など	網戸の破れ・がたつき		害虫の侵入を許してしまう。
	床板の具合		床下部のフカフカや損傷がある場合は腐食している恐れがある。
キッチンまわり	壁面や天井の汚れ・損傷		落とすきれない汚れはカビや菌の繁殖をもたらす。
	照明・スイッチの具合		点灯具合の悪化や旧型器具の場合は漏電などの危険がある。
キッチンまわり	手すりのがたつき		ガタつきから手すりが外れると体が支えられず、転倒や転落の恐れがある。
	玄関タイルの状況		割れや目地の損傷は躓くことや転倒する恐れがある。
キッチンまわり	壁面やタイル等の損傷		損傷部から壁内へ水が漏れ出し、周辺に腐食やカビをもたらす。
	壁面やタイル等の汚れ		落とすきれない汚れはカビや菌の繁殖をもたらす。
キッチンまわり	キッチン収納の不具合		ゆるみやガタつきが進むと収納具が外れ落下し、怪我や損傷につながる。
	蛇口やハンドルの具合		ゆるみやガタつきから水漏れし、周辺に腐食やカビをもたらす。
キッチンまわり	コンロまわりの具合		ガス栓のゆるみやガス配管の劣化は火災の危険がある。
	換気扇		異常動作は換気不足となり一酸化炭素中毒の恐れがある。
トイレまわり	壁面の損傷		外気が侵入し臭気が排出されず、居室内全体にも拡散する恐れがある
	壁面の汚れ		落とすきれない汚れはカビや菌の繁殖をもたらす。
トイレまわり	使用年数の確認		配管からの水漏れは床材を腐敗させる。電気系統の不具合は漏電の恐れがある。
	照明器具の点検		暗所の照度不足は器具交換を。人感センサー付き照明なら消し忘れも防げる。
トイレまわり	換気扇・換気口		臭気が排出されず、居室内全体にも拡散する恐れがある。
	床面の状況		落とすきれない汚れはカビや菌の繁殖をもたらす。
お風呂洗面所	壁面やタイル等の損傷		損傷部から壁内へ水が漏れ出し、周辺に腐食やカビをもたらす。
	壁面やタイル等の汚れ		落とすきれない汚れはカビや菌の繁殖をもたらす。
お風呂洗面所	換気扇		湿気が排出されず、居室内の湿気が多くなりカビや結露などの発生につながる。
	水栓器具の点検		水漏れなどはカビや腐食などをもたらす恐れがある。
お風呂洗面所	洗面部の損傷		下部などへの水が漏れ、カビや腐食などをもたらす恐れがある。
	照明器具の点検		暗所の照度不足は器具交換を。人感センサー付き照明なら消し忘れも防げる。
お風呂洗面所	洗濯機パンの水漏れ		床や基礎部などが腐食する恐れがある。
	床板の具合		床下部のフカフカや損傷がある場合は腐食している恐れがある。
各室内共通	壁面や天井の汚れ・損傷		落とすきれない汚れはカビや菌の繁殖をもたらす。
	収納ドアなどの具合		ゆるみやガタつきが進むとドアが外れ落下し、怪我や損傷につながる。
各室内共通	照明器具の点検		点灯具合の悪化や旧型器具の場合は漏電などの危険がある。
	電源コンセントの不足		たこ足配線は漏電の恐れがあるため、コンセント個所数を見直したい。
天井点検口	電源コンセントの緩み・ガタつき		漏電やショートなどの恐れがある。
	雨漏りの点検		前回調査から10年を超えていたり、天井が染みていたりする場合は点検したい。
天井点検口	虫害・獣害の点検		異音や異常、天井に染みがある場合などは点検したい。
	ブレーカーが頻繁に落ちる		電気配線の見直しを図り、回避したい。
電気設備	大型家電を導入した		電気設備に大きな負荷がかかる場合があり、専用配線の設置を検討したい。
	バルコニー		腐食や劣化などがあると雨漏りにつながる恐れがある。
バルコニー	防水の点検		腐食や劣化などがあると雨漏りにつながる恐れがある。
	テラスルーフなど		がたつきや腐食などがあると雨漏りにつながる恐れがある。
外構	フェンス・カーポート・物置など		がたつきや腐食などがあると雨漏りや倒壊の恐れがある。

●お家の気になること、ご相談ください



当店のWebサイトで様々なお家の「トラブル解消特集」を公開しています

☎ 0120-682-777 (9:00~20:00・土日祝も営業)

〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間2079-1

✉ info@saihome.jp 🌐 https://saihome.jp/

建設業許可番号 神奈川県知事許可(般-4)第83905号 / 一級建築士事務所 神奈川県知事登録第18399号



禁無断転載